

ライフサイエンスワールド 2016（第13回アカデミック フォーラム）に出展しました

日 時

平成28年5月11日（水）～13日（金）

会 場

東京ビッグサイト

「がんドライバー遺伝子に対するRNA創薬の戦略」

連合創薬医療情報研究科 教授 赤尾 幸博

概要 がんに対する医薬はドライバー遺伝子を標的にした分子標的薬が主流である。ここではドライバー遺伝子の生成プログラムを断つRNA創薬の戦略について発表した。

「ベンゼン-グリコール骨格含有人工核酸の合成と核酸医薬への利用」

応用生物科学部 教授 上野 義仁

概要 ベンゼン-グリコール骨格を含む人工核酸を合成し、アンチセンスならびにsiRNA医薬への応用について発表した。

「家畜における革新的な間葉系幹細胞の生殖医療応用」

応用生物科学部 共同獣医学科 教授 村瀬 哲磨

概要 脂肪由来幹細胞を含む間葉系幹細胞をフィーダー細胞として用いることにより精子と卵子の活性化に成功し、ヒトを含む哺乳類の生殖再生治療が実現できるシステムを開発した。